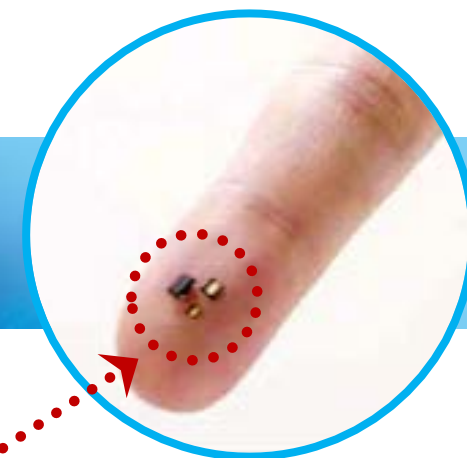


トレックス・セミコンダクター株式会社

2016年3月期 第2四半期決算説明会



私たちトレックス・セミコンダクターは

小型化・省電力化で

豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献します

2015年11月18日

内容	頁	内容	頁
1. 会社概要	2	3. 第21期（2016年3月期）通期予想	17
1-1. 事業内容	3	3-1. 概況	18
1-2. 主力製品群	4	3-2. 地域セグメント別	19
1-3. 当社の特長	5	3-3. 製品群別	20
1-4. お知らせ	8	3-4. アプリケーション別（参考値）	21
2. 第21期（2016年3月期）第2四半期実績	9	4. トピックス	22
2-1. 概況	10	4-1. ウェアラブル分野	23
2-2. P/LとB/S	11	4-2. 新しい分野への採用事例	27
2-3. 地域セグメント別	13	5. 還元方針	28
2-4. 製品群別	14	5-1. 基本方針	29
2-5. アプリケーション別（参考値）	15	5-2. 配当額	30
2-6. 地域別売上傾向	16		

内容	頁	内容	頁
1. 会社概要	2	3. 第21期（2016年3月期）通期予想	17
1-1. 事業内容	3	3-1. 概況	18
1-2. 主力製品群	4	3-2. 地域セグメント別	19
1-3. 当社の特長	5	3-3. 製品群別	20
1-4. お知らせ	8	3-4. アプリケーション別（参考値）	21
2. 第21期（2016年3月期）第2四半期実績	9	4. トピックス	22
2-1. 概況	10	4-1. ウェアラブル分野	23
2-2. P/LとB/S	11	4-2. 新しい分野への採用事例	27
2-3. 地域セグメント別	13	5. 還元方針	28
2-4. 製品群別	14	5-1. 基本方針	29
2-5. アプリケーション別（参考値）	15	5-2. 配当額	30
2-6. 地域別売上傾向	16		

1. 会社概要

1-1. 事業内容

- 世界トップクラスの小型・低消費電力の電源ICを開発・販売しています。

電源ICの役割



電子機器の様々な機能を動かすために
必要な電力を供給する

TOREXの電源IC



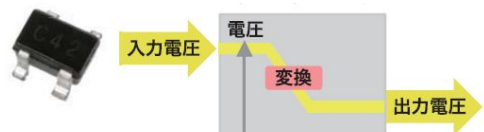
独自の技術で電子機器の
小型化、省電力化に貢献

1. 会社概要

1-2. 主力製品群

- VR、DC/DC、VDが当社の主力製品です。

VR



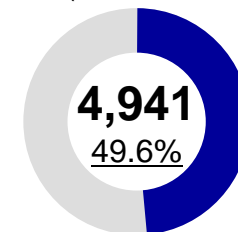
平均単価

お客さま数

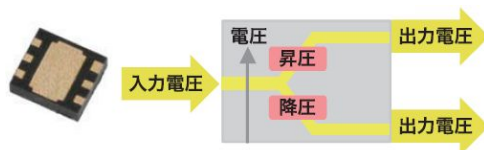
平均購入数量

2015年3月期実績
(単位：百万円)

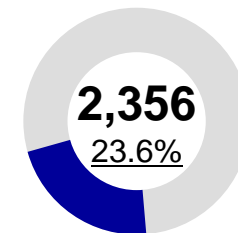
9円 × 5,000社 × 10万~20万個



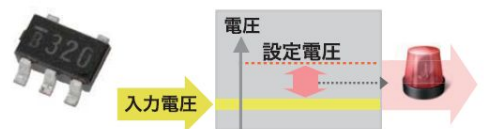
DC/DC



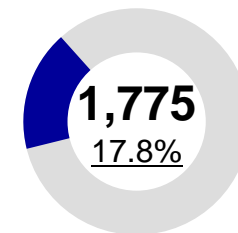
27円 × 1,500社 × 5万~10万個



VD



8円 × 2,000社 × 10万~20万個



1. 会社概要

1-3. 当社の特長①

- 着実に一つ一つの商談を積み重ね、堅実に成長していく企業です。



世界はアナログでできている

身の回りの光・音・電気は全てアナログ
全ての機器でアナログ処理が必要



電子化の進展

機器の高性能化に伴う電子化が進展
必要となる電源ICの種類・数も増大



一つ一つの商談の積み重ね

ライフサイクルは長いもので20年以上
一つ一つの商談が安定売上を創り出す



堅実な成長の実現

不採算取引の見直しと、高付加価値
領域へのシフトで収益を安定化

1-3. 当社の特長②

- 開発、販売にアナログ技術のプロフェッショナル集団を有しています。

回路設計に踏み込んだ提案

開発-FAE(*1)による営業サポートの下、
アナログ電源を知り尽くした営業集団が
ソリューションとしての製品提案を実施しています

(*1) Field Application Engineer (技術営業)



開発

製造

検査・物流

販売

サービス



アナログ電源IC設計に特化

1995年の創業から、アナログ電源ICという
一つの分野を突き詰めてきたことで、
高い専門性を有しています

1. 会社概要

1-3. 当社の特長③

- 世界6カ国・8つの地域に営業・生産拠点を置き、世界の需要に対応しているグローバル企業です。



○：営業拠点
○：生産拠点

1. 会社概要

1-4. お知らせ

- おかげさまで、2015年10月15日に東証二部に上場いたしました。



内容	頁	内容	頁
1. 会社概要	2	3. 第21期（2016年3月期）通期予想	17
1-1. 事業内容	3	3-1. 概況	18
1-2. 主力製品群	4	3-2. 地域セグメント別	19
1-3. 当社の特長	5	3-3. 製品群別	20
1-4. お知らせ	8	3-4. アプリケーション別（参考値）	21
2. 第21期（2016年3月期）第2四半期実績	9	4. トピックス	22
2-1. 概況	10	4-1. ウェアラブル分野	23
2-2. P/LとB/S	11	4-2. 新しい分野への採用事例	27
2-3. 地域セグメント別	13	5. 還元方針	28
2-4. 製品群別	14	5-1. 基本方針	29
2-5. アプリケーション別（参考値）	15	5-2. 配当額	30
2-6. 地域別売上傾向	16		

2-1. 概況

1

売上高は海外を中心に増加、車載・産業機器向けの売上高が堅調に推移

2

車載・産業機器向けの売上構成比が向上、経費抑制に努めた結果、利益率が当初の計画より増加

3

業容拡大に向けた開発人員増強及び開発環境整備に資金投入を継続

2. 第21期（2016年3月期）2Q実績

2-2. P/LとB/S（P/L）

- 売上構成の変化、為替レートの変動、支出抑制の効果で利益が上ぶれました。

(単位：百万円)

科目	前年同期	第21期 上期実績	対前年 増減率(%)	第21期 上期予想 (当初)	対計画 増減率(%)
売上高	4,765	5,330	+11.9	5,250	+1.5
営業利益	568	745	+31.1	580	+28.6
経常利益	662	761	+14.9	550	+38.5
親会社株主に帰属 する当期純利益	425	519	+22.1	400	+30.0
平均為替 レート(1\$=)	¥103.5	¥121.4	—	¥115.0	—
営業利益率	11.9%	13.9%	+2.1 (ポイント)	11.0%	+3.0 (ポイント)
海外売上高 比率	69.9%	72.9%	▲3.0 (ポイント)	—	—
減価償却費	182	200	+9.4	—	—
設備投資	327	319	▲2.6	—	—

2. 第21期（2016年3月期）2Q実績

2-2. P/LとB/S（B/S）

- 業容拡大に向けて開発人員増強及び開発環境整備に資金を投入しております。

(単位：百万円)

科目	前年度末 実績	第21期 9月末実績	増減率 (%)
流動資産	10,753	10,629	▲1.2
固定資産	2,417	2,544	+5.3
資産計	13,170	13,174	▲0.0
流動負債	1,886	1,551	▲17.8
固定負債	394	404	+2.4
負債計	2,281	1,955	▲14.3
純資産合計	10,889	11,218	+3.0
負債純資産計	13,170	13,174	▲0.0

(単位：百万円)

科目	前年度末 実績	第21期 9月末実績
有利子負債 (百万円)	111	63
自己資本比率 (%)	82.3	84.8
D/Eレシオ	0.01	0.01
従業員数	342	349

2. 第21期（2016年3月期）2Q実績

2-3. 地域セグメント別

- 海外を中心に売上高が増加しました。

(単位：百万円)

	前年同期			第21期 2Q実績			前年同期比		
	売上高	営業利益 ⁽¹⁾	D-in ⁽²⁾ 売上高	売上高	営業利益 ⁽¹⁾	D-in ⁽²⁾ 売上高	売上高	営業利益 ⁽¹⁾	D-in ⁽²⁾ 売上高
日本	1,436	523	2,122	1,442	672	2,177	100.4%	128.5%	102.6%
アジア	2,687	53	1,475	3,124	57	1,913	116.3%	106.7%	129.7%
欧州	329	0.6	790	415	26	802	126.3%	4,215.3%	101.6%
北米	312	4	376	348	▲7	436	111.4%	—	116.0%
連結計	4,765	568	4,765	5,330	745	5,330	111.9%	131.1%	111.9%

(1)営業利益率：日本以外のセグメントの営業利益は販売子会社のものであり、各地域における収益性は確保しております。

(2) D-in 売上高：デザイン・イン・ベース売上高。当社の製品を搭載した製品が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域をベースとした売上高

2. 第21期（2016年3月期）2Q実績

2-4. 製品群別実績

- 各製品とも需要は堅調となっております。

(単位：百万円)

		前年同期		第21期 2Q実績		前年同期比	
		売上高		売上高		売上高	
VR	日本	2,396	598	2,579	587	107.6%	98.2%
	海外		1,798		1,992		110.8%
VD	日本	886	278	839	287	94.7%	103.2%
	海外		609		551		90.5%
DC/ DC	日本	1,086	433	1,271	429	117.0%	99.1%
	海外		653		841		128.8%
その他	日本	398	128	640	137	160.8%	107.0%
	海外		270		502		185.9%
連結合計		4,765		5,330		111.8%	

2. 第21期（2016年3月期）2Q実績

2-5. アプリケーション別（参考値）

- 産業機器向けの売上高が引き続き好調を維持しております。

(単位：百万円)

		前年同期		第21期 2Q実績		前年同期比
		売上高	比率	売上高	比率	売上高
IND	産業機器	1,187	24.9%	1,501	28.2%	126.5%
CAR	車載機器	516	10.8%	634	11.9%	122.9%
AMU	ミュージック機器	69	1.4%	142	2.7%	205.8%
PC	PC/PC周辺機器	654	13.7%	475	8.9%	72.6%
COM	コミュニケーション機器	355	7.4%	243	4.6%	68.5%
AV	デジタル家電機器	862	18.1%	919	17.2%	106.6%
ENE	充電機器	25	0.5%	43	0.8%	172.0%
HOM	家電/健康機器	349	7.3%	327	6.1%	93.7%
MED	医療機器	39	0.8%	50	0.9%	128.2%
WEA	ウェアラブル機器	7	0.1%	61	1.1%	871.4%
OTHER	その他機器	703	14.8%	930	17.4%	132.3%

注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

2-6. 地域別売上傾向

- 全ての地域で産業機器向けの売上が向上しました。

日本

- 産業機器分野が増大
- 地域区分の中で一番DC/DCの割合が大きい

アジア

- 産業機器、車載機器分野が好調
- その他（ディスクリート）の販売が最も多い地域

欧州

- 産業機器、医療機器分野が好調
- VRの割合が60%超え

北米

- 産業機器、デジタル家電分野が堅調
- 全ての製品群がバランスよく売れている

内容	頁	内容	頁
1. 会社概要	2	3. 第21期（2016年3月期）通期予想	17
1-1. 事業内容	3	3-1. 概況	18
1-2. 主力製品群	4	3-2. 地域セグメント別	19
1-3. 当社の特長	5	3-3. 製品群別	20
1-4. お知らせ	8	3-4. アプリケーション別（参考値）	21
2. 第21期（2016年3月期）第2四半期実績	9	4. トピックス	22
2-1. 概況	10	4-1. ウェアラブル分野	23
2-2. P/LとB/S	11	4-2. 新しい分野への採用事例	27
2-3. 地域セグメント別	13	5. 還元方針	28
2-4. 製品群別	14	5-1. 基本方針	29
2-5. アプリケーション別（参考値）	15	5-2. 配当額	30
2-6. 地域別売上傾向	16		

3. 第21期（2016年3月期）通期予想

3-1. 概況

- 増収増益を予想していますが、経常利益は減益の見通しです。

(単位：百万円)

科目	前期	第21期 予想	対前年 増減率(%)
売上高	9,971	11,000	+10.3
営業利益	1,350	1,400	+3.7
経常利益	1,678	1,350	▲19.6
当期純利益	1,247	950	▲23.9
平均為替 レート(1\$=)	¥110.0	¥115.0	—
営業利益率	13.5%	12.7%	▲0.8 (ポイント)
海外売上高 比率	71.7%	73.7%	+2.0 (ポイント)
減価償却費	409	508	+24.2
設備投資	586	839	+43.2
ROE	13.3%	8.6%	▲4.7 (ポイント)

注：5月発表時より変更はございません。

為替前提：ドル=115.0円（前期：ドル=110.0円）

3. 第21期（2016年3月期）通期予想

3-2. 地域セグメント別

- アジア・欧州地域及び日系企業向けを中心に売上の確保を図ります。

(単位：百万円)

	前期			第21期 予想			前期比		
	売上高	営業利益 ⁽¹⁾	D-in ⁽²⁾ 売上高	売上高	営業利益 ⁽¹⁾	D-in ⁽²⁾ 売上高	売上高	営業利益 ⁽¹⁾	D-in ⁽²⁾ 売上高
日本	2,813	1,224	4,274	2,900	1,100	4,840	103.1%	91.1%	113.2%
アジア	5,798	121	3,360	6,800	300	3,450	117.3%	246.5%	102.7%
欧州	707	7	1,546	800	10	1,870	113.0%	142.6%	120.9%
北米	652	14	789	500	▲10	840	76.6%	—	106.4%
連結計	9,971	1,367	9,971	11,000	1,400	11,000	110.3%	103.7%	110.3%

(1)営業利益率：日本以外のセグメントの営業利益は販売子会社のものであり、各地域における収益性は確保しております。

(2) D-in 売上高：デザイン・イン・ベース売上高。当社の製品を搭載した製品が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域をベースとした売上高

3. 第21期（2016年3月期）通期予想

3-3. 製品群別

- 主要製品群の売上はVDを除き概ね前年比プラスとなる見込みであります。

(単位：百万円)

		前期 実績		第21期 予想		前期比	
		売上高		売上高		売上高	
VR	日本	4,941	1,162	5,170	1,100	104.6%	94.7%
	海外		3,779		4,070		107.7%
VD	日本	1,775	560	1,560	520	87.9%	92.9%
	海外		1,215		1,040		85.6%
DC/ DC	日本	2,356	834	2,860	834	121.4%	109.1%
	海外		1,522		1,950		128.1%
その他	日本	896	255	1,410	310	157.4%	121.6%
	海外		641		1,100		171.6%
連結合計		9,971		11,000		110.3%	

3. 第21期（2016年3月期）通期予想 3-4. アプリケーション別（参考値）

- 産業機器、車載機器向けの売上構成比は4割を超えると予想しています。

(単位：百万円)

		前期		第21期予想		前期比
		売上高	比率	売上高	比率	売上高
IND	産業機器	2,378	23.8%	3,050	27.7%	128.3%
CAR	車載機器	1,241	12.4%	1,470	13.4%	118.5%
AMU	ミュージック機器	117	1.2%	240	2.2%	205.1%
PC	PC/PC周辺機器	1,212	12.2%	1,210	11.0%	99.8%
COM	コミュニケーション機器	712	7.1%	410	3.7%	57.6%
AV	デジタル家電機器	1,847	18.5%	2,050	18.6%	111.0%
ENE	充電機器	68	0.7%	200	1.8%	294.1%
HOM	家電/健康機器	713	7.2%	1,260	11.5%	176.7%
MED	医療機器	87	0.9%	240	2.2%	275.9%
WEA	ウェアラブル機器	80	0.8%	220	2.0%	275.0%
OTHER	その他機器	1,509	15.1%	650	5.9%	43.1%

注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

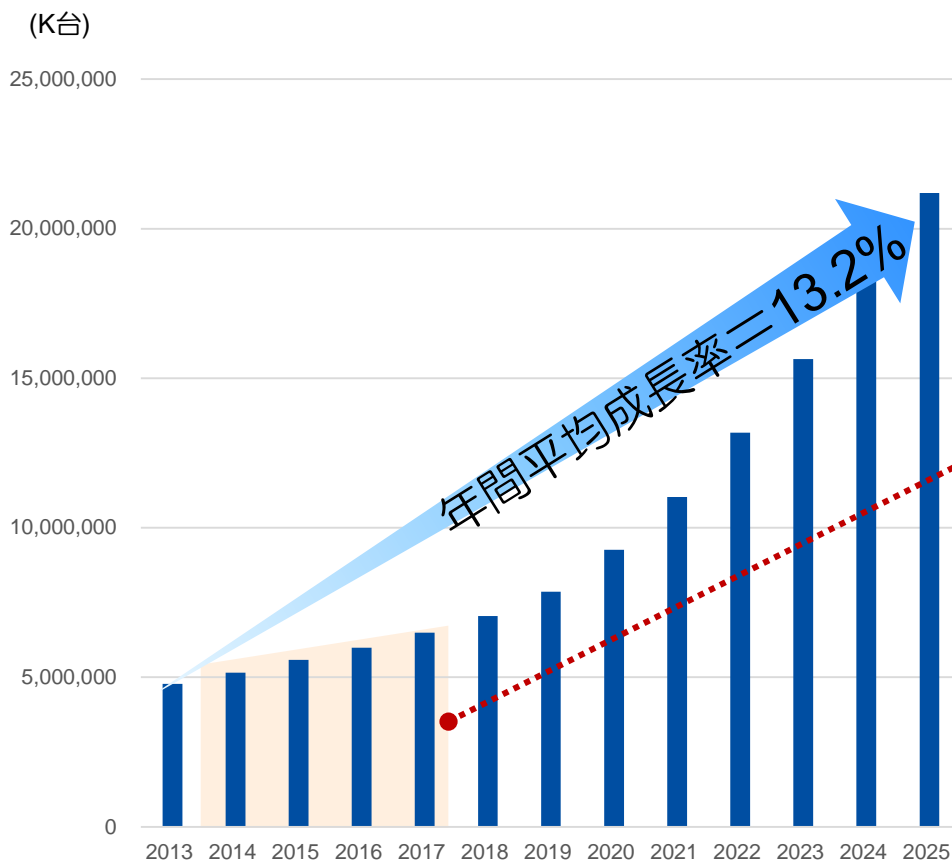
内容	頁	内容	頁
1. 会社概要	2	3. 第21期（2016年3月期）通期予想	17
1-1. 事業内容	3	3-1. 概況	18
1-2. 主力製品群	4	3-2. 地域セグメント別	19
1-3. 当社の特長	5	3-3. 製品群別	20
1-4. お知らせ	8	3-4. アプリケーション別（参考値）	21
2. 第21期（2016年3月期）第2四半期実績	9	4. トピックス	22
2-1. 概況	10	4-1. ウェアラブル分野	23
2-2. P/LとB/S	11	4-2. 新しい分野への採用事例	27
2-3. 地域セグメント別	13	5. 還元方針	28
2-4. 製品群別	14	5-1. 基本方針	29
2-5. アプリケーション別（参考値）	15	5-2. 配当額	30
2-6. 地域別売上傾向	16		

4. トピックス

4-1. ウェアラブル分野～市場動向

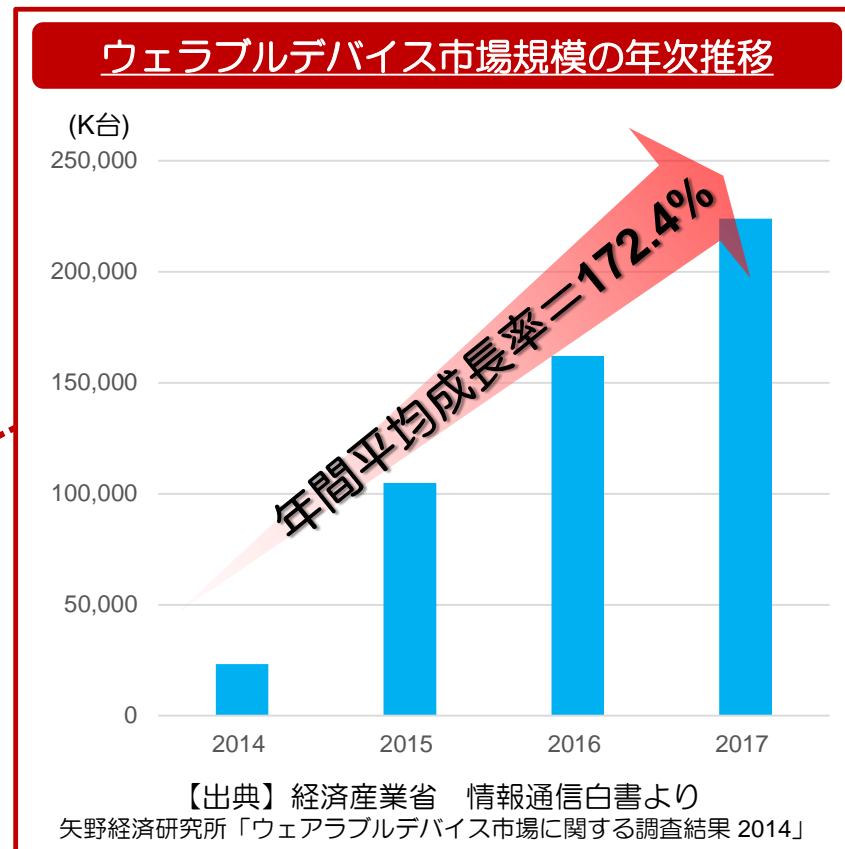
- 安定成長が見込まれるIoTデバイス市場の中でも、ウェアラブルデバイス市場は急成長が期待されている分野です。

IoTデバイス(*)市場規模の年次推移



*IoTデバイス：インターネットにつながっている機器

【出典】IHS Global株式会社調べ（2015年）



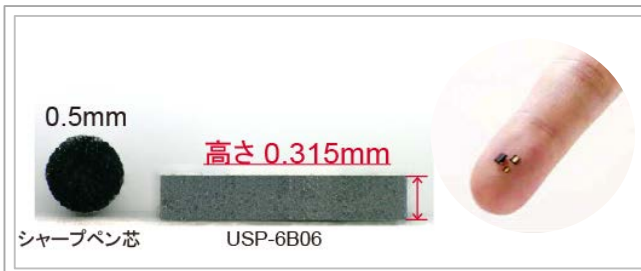
【出典】経済産業省 情報通信白書より
矢野経済研究所「ウェアラブルデバイス市場に関する調査結果 2014」

4. トピックス

4-1. ウェアラブル分野～開発製品

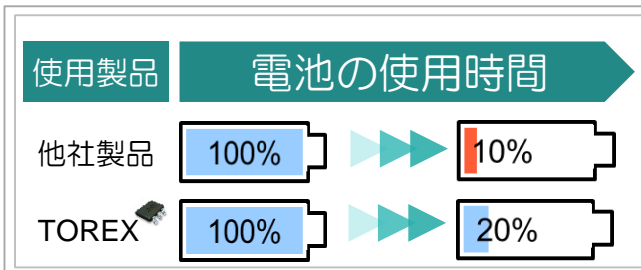
- 機器の小型化や電池の長寿命を求めるウェアラブル市場に最適な超小型・高効率製品のラインアップをさらに拡充していく予定です。

超小型製品



クレジットカードの高さでも搭載可能な超薄型製品や部品の面積を気にする小型機器に最適なコイル一体型の超小型製品まで、世界最小クラスの製品を開発しています。

高効率製品

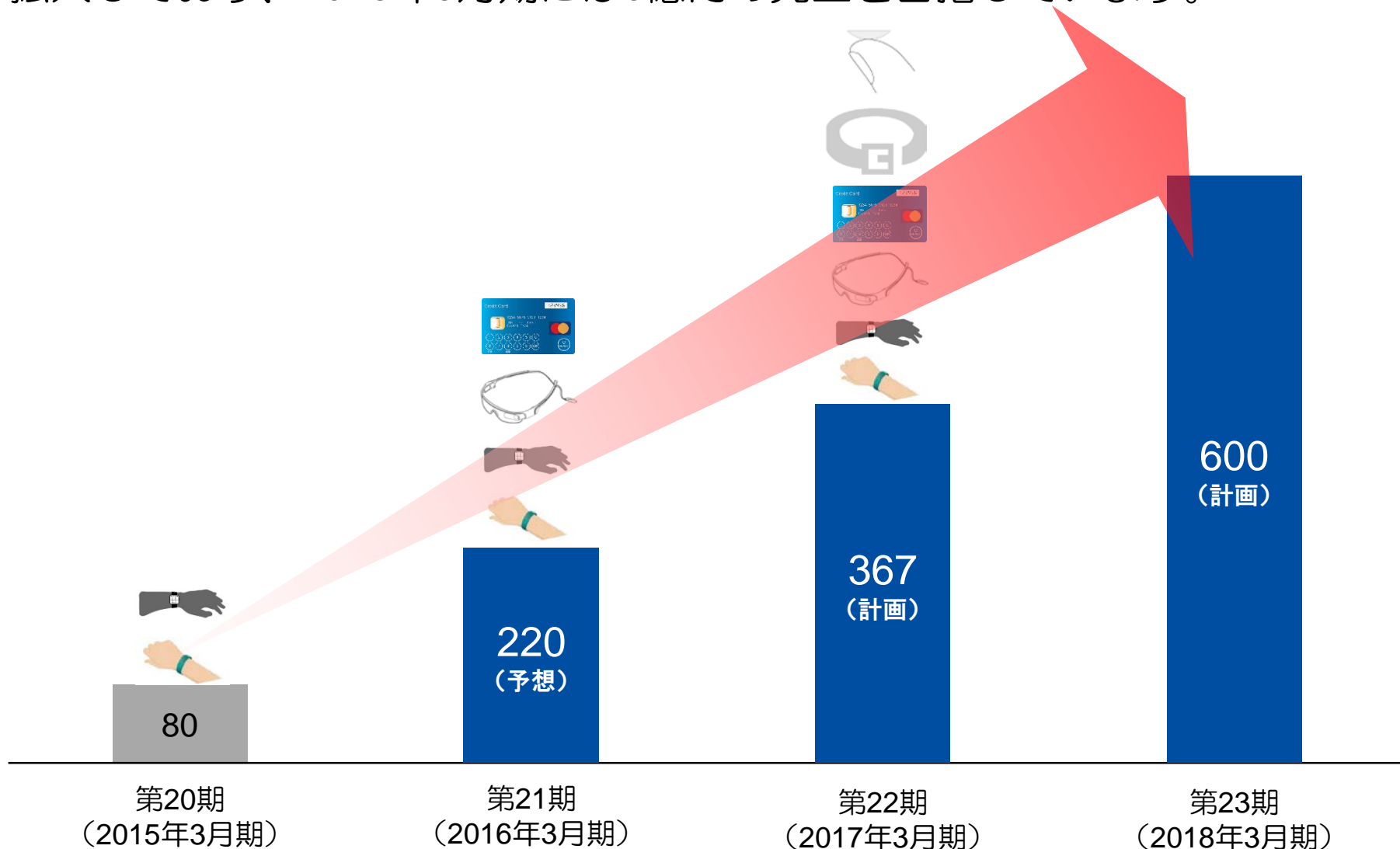


当社独自の技術で高速で安定した電圧・電流を超低消費で供給、電池の長持ちを求めるウェアラブル機器に高く評価されています。

4. トピックス

4-1. ウェアラブル分野～売上推移と採用事例

- リストバンド型や時計型はもちろん、メガネ型やスマートカード等へと採用範囲が拡大しており、2018年3月期には6億円の売上を目指しています。



4. トピックス

4-1. ウェアラブル分野～ウェアラブルEXPO

- 去年に引き続き、ウェアラブル EXPOに出展します。

本業界
世界最大！ウェアラブル総合展

前回比2倍 210社が出展！
最新製品・技術に触れる絶好の機会

**ウェアラブル端末の開発から活用ソリューションまで
一気に比較検討できます**

端末 **開発技術**

ウェアラブルの今と未来が分かる！
55セッションの大規模セミナーを併催

会期：2016年1月13日 [水] ～15日 [金]

4-2. 新しい分野への採用事例

- ドローンの快適な操縦性を実現するためのモータ&電池実験に当社のVRが採用されました。

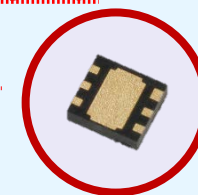
トランジスタ技術

12月号

特集
飛行機実験済み！
最新
モータ&電池

小型ドローンのモータを
より高出力なものに交換し、
追従安定性能が改善するかを
実験、確認

ドローンを制御するマイコンの
電源ICとしてトレックスの
XC6206を使用



内容	頁	内容	頁
1. 会社概要	2	3. 第21期（2016年3月期）通期予想	17
1-1. 事業内容	3	3-1. 概況	18
1-2. 主力製品群	4	3-2. 地域セグメント別	19
1-3. 当社の特長	5	3-3. 製品群別	20
1-4. お知らせ	8	3-4. アプリケーション別（参考値）	21
2. 第21期（2016年3月期）第2四半期実績	9	4. トピックス	22
2-1. 概況	10	4-1. ウェアラブル分野	23
2-2. P/LとB/S	11	4-2. 新しい分野への採用事例	27
2-3. 地域セグメント別	13	5. 還元方針	28
2-4. 製品群別	14	5-1. 基本方針	29
2-5. アプリケーション別（参考値）	15	5-2. 配当額	30
2-6. 地域別売上傾向	16		

5-1. 基本方針

戦略的投資による成長力の向上を図りつつ、当社を取り巻く経営環境並びに中長期の連結業績及び株主資本利益率の水準を踏まえて実施していくことといたします。

配当につきましては、業績水準を反映した利益配分として連結配当性向20%以上、安定的かつ継続的な株主還元の拡充として株主資本配当率（DOE）3%程度を当面の目標として実施してまいります。

5. 還元方針

5-2. 配当額

1株当たり配当金			
基準日	第2四半期末	期末	年間
前期実績	50円00銭	60円00銭	110円00銭

平成27年4月1日付けで普通株式一株につき4株の分割で株式分割を実施

今期 配当予想	16円00銭	16円00銭	32円00銭
------------	--------	--------	--------

本資料に記載された内容は、2015年11月18日現在において一般的に入手可能な情報と、合理的と判断する一定の前提に基づき、当社が作成したものです。

本資料に記載されている当社の中期計画、見通し等に関する記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。また、アプリケーション別実績・計画に関する数値は、地域セグメント別・製品群別実績を基に推定で作成したものととなります。

実際の業績は、これらの要素により本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

投資に関するご決定をされる際、本資料のみに全面的に依拠することはお控えいただき、みなさまご自身のご判断でなされるようお願い致します。

Powerfully Small!

常に豊かな知性と感性を磨き、
市場に適応した価値ある製品を創出し、
豊かな社会の実現と
地球環境の保全に貢献するとともに、
私たちの事業に携わるすべての人々が
共に繁栄すること

